

令和4年度  
学校自己評価報告書

令和5年3月

学校法人阿佐ヶ谷学園  
阿佐ヶ谷美術専門学校

## 1. 学校の教育目標

本校の目的は、アートの教育を以って理想的真、善、美の世界を現実化することにある。そのプロセス、成果によって、社会及び世界に貢献しようとする。その為には精神の自由が必要であり、それは総合性によって得られ、また人間は自然の一員として、そこから学び、それらを通し成業を果たし、成就へと向かう。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことか `必要な目標や計画

学科ごとの良質なカリキュラムの設定

(学校独自の理念を基軸に)

就職や仕事に結びつく効果的な授業

(学生と社会、それぞれのニーズのバランス)

学生の学びを応援できる充実した施設環境の整備

(リモート授業を活かせる環境の整備)

学生生活における体調管理および保健指導

(新型コロナウイルス感染症等に対応する管理、保健指導)

社会環境に合わせた柔軟な対応

(社会の変化してゆく枠組みに対応)

## 3. 評価項目の達成及び `取組状況

### (1). 教育理念・目標

評価項目	適切...4、ほぼ `適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性か `明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	3
・社会経済のニーズ `等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など `か `学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズ `に向けて方向つ `けられているか	3

### 1 課題

・学生の就業イメージの不足

・卒業後の就職率が低い。学生の育成がニーズに合っていない可能性がある

- ・ 社会のニーズとのバランス
- ・ 業界の新しさによる、毎年の授業内容の更新要求
- ・ 就職意識の統一と、学生との共有が不安
- ・ 専門職に就職することが全てではないが、希望職種に就職する割合や内定率の適正性が疑問
- ・ 学生の適性を見極めるための初年度前期の利点がある一方で、学生の優柔不断さに関わることもある
- ・ 教育理念が今後数十年に渡って不変で良いのか検証が必要
- ・ テクノロジーの進化に向けた工夫と努力が必要

## 2 今後の改善方策

- ・ 社会との接点も作りながら、自らのスキルの活かし方に自信を持ってもらえるような機会の創造
- ・ 現場で活躍している教員を積極的に採用する、または業界の話しを直接聞ける機会を学校全体として積極的に設ける
- ・ 双方(アサビと社会の動向)を注意深く検証
- ・ 業界動向の持続的なりサーチと、該当する人材リサーチ
- ・ 卒業3月までに就職内定率の目標数値の設定をする必要がある。
- ・ 学生各自の個性の見極め、チューターとなった場合は特に丁寧な個人面談が重要
- ・ 時代や状況に合わせて理念の見直しが必要

## 3 特記事項

### (2). 学校運営

評価項目	適切...4、 ほぼ適切...3、 やや不適切...2、 不適切...1
・ 目的等に沿った運営方針か 〇策定されているか	3
・ 運営方針に沿った事業計画か 〇策定されているか	3
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
・ 教務・財務等の組織整備など 〇意思決定システムは整備されているか	3
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制か 〇整備されているか	3
・ 教育活動等に関する情報公開か 〇適切になされているか	3
・ 情報システム化等による業務の効率化か 〇図られているか	3

## 1 課題

- ・ 情報システム化
- ・ 明確な目標(スローガンのもの)を共有する情報として欲しい。

・人事に関しては評価システムが周知されていると思えない

・規定がやや曖昧な点も見受けられる。

## 2 今後の改善方策

・予算、人事関係の検討

## 3 特記事項

### (3). 教育活動

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レ ベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発など が実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が 行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が、 体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	2
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことか、できる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保 するなどマ ネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など、 資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

## 1 課題

・研修不足、新規スタッフ加入による意思疎通の必要性

・就職に実践的なカリキュラムの実施の必要性

・各学科コースにおける人材育成目標や授業構成について認知度合いについて。

・成績判定・単位取得の補完課題などでのフォローについて。

## 2 今後の改善方策

・教員の新しい学びをサポートできるような時間と場の確保の検討。

・授業内で行われる事の情報を広報にも共有

・全体の授業構成や、教員の質に対しての検証が必要

### 3 特記事項

2コース合同での課題や授業で制作の幅も広がり、学生同士の交流にもなる可能性。

## (4). 学修成果

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・就職率の向上か 〆られているか	3
・資格取得率の向上か 〆られているか	2
・退学率の低減か 〆られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び 〆評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

### 1 課題

- ・在学生の就活意識の醸成
- ・卒業生とのコミュニケーションの維持
- ・卒業生の活躍の情報の共有
- ・就職以外の進路決定に関しても検討する必要がある

### 2 今後の改善方策

- ・同窓会との連携
- ・卒業生との継続的なコミュニケーションの必要性がある。
- ・学内企業説明会を増やしたい。ポートフォリオ制作にかける時間を増やしていく
- ・卒業生同士の交流・情報共有の必要性がある。
- ・社会に出ても通用するスキルや知識を身につけるための教育が必要。

### 3 特記事項

## (5). 学生支援

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3

・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境か、整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組か、行われているか	3

### 1 課題

- ・入学前に保護者や本人が相談しやすい環境の整備
- ・キャリア教育の強化
- ・経済的援助の充実
- ・課外活動への支援体制の整備
- ・卒業生への支援体制の整備
- ・保護者対応の改善

### 2 今後の改善方策

- ・高校卒業生から社会人まで多様な学習環境を提供することが必要
- ・経済的援助を目的とした制度の設置が必要
- ・保護者が相談できる体制を整備する必要がある

### 3 特記事項

ハラスメント等の相談窓口ができたのが良かった

## (6). 教育環境

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

### 1 課題

- ・設備の老朽化や防災対策の不足がある。

- ・海外研修、校舎の環境美化、デジタルや撮影関連の設備整備が必要。
- ・災害に対する知識と行動の啓発が必要。
- ・企業との連携が希薄に感じられる。
- ・コロナ禍において、避難訓練や不審者対策の改善が必要。

## 2 今後の改善方策

- ・ロボット掃除機の導入など考察中
- ・訓練を通じて、具体的な行動を学ぶ
- ・定期的にインターンシップを実施してくれる企業と提携する
- ・防災に関する訓練、整備、備蓄は長い年月を見据えて計画的に行うべき

## 3 特記事項

### (7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

## 1 課題

- ・在校生の教育成果を十分アピールできているかは課題がある。
- ・高校生の人口減少への対応

## 2 今後の改善方策

- ・広報への情報共有を円滑に行う
- ・社会人募集の施策をおこなう

## 3 特記事項

### (8). 財務

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
	1

・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査か、適正に行われているか	3
・財務情報公開の体制整備はできているか	3

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

## (9). 法令等の遵守

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営か、なされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策か、とられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	3

1 課題

2 今後の改善方策

3 特記事項

## (10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

1 課題

・公開講座、教育訓練の実施

2 今後の改善方策

3 特記事項



## (11). 国際交流

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等か、とられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制か、整備されているか	4
・学習成果か、国内外で評価される取組を行っているか	3

### 1 課題

### 2 今後の改善方策

### 3 特記事項

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### 目標と評価結果からの考察

#### 1 学科毎の良質なカリキュラムの設定

概ね良い方向に向かっていると考えている。

#### 2 就職や仕事に結びつく効果的授業

就職希望が多いコースでは、まずまず達成できた。

#### 3 充実した施設環境の整備

新しい教室も増え、施設の増強と校内美化は、着々と成果を上げている。

#### 4 学生の体調管理と保健指導

コロナ禍の中だったので、学生に無理をさせず、自身の体調管理を第一に考え指導した。結果、安全に授業が運営できた。

#### 5 社会環境に合わせた柔軟な対応

国の方針、社会情勢を鑑みながら柔軟に対応出来たと思われる。

### 次年度への課題

○防災に関する管理体制を計画的に構築していくこと。

○コロナ禍終息後の課題として、社会や地域貢献、課外活動をより充実させていくこと。

○卒業生への支援の形として、同窓会を通して継続的に学生と交流し、情報交換を密にして

いくこと。また同窓会に、アサビ生に対して同窓会の認知度を上げてもらうシステムを検討してもらうこと。

○教員の質の向上については、学生や保護者からの意見に真摯に耳を傾けること、また、問題のある

事項に関して、教職員間で共有すること。

○コロナ禍で研修などが少なかったが、今後、必要とされるセミナーを検討。

○各コース間の授業交流を図り、よりヴァリエーション豊かなコンテンツを作っていきたい。

令和4年度  
学校関係者評価報告書

令和5年3月

学校法人阿佐ヶ谷学園  
阿佐ヶ谷美術専門学校

## 学校関係者評価 (令和2年度自己評価に基づく)

開催日時: 2023年 3月29日 13:00

出席者: 理事長 三輪孝幸  
          学校長 甲斐光省  
          評議委員代表 橋場尚樹  
          卒業生代表 小山弘

### 学校関係者評価・意見

#### <項目1 教育理念・目標>

学生自身の就業へのモチベーション維持に関する課題がある。  
コロナ禍を経て職業体験や実際に活動されている方の話を聞くこと  
の機会を増やして行く事が重要と考えます。

#### <項目2 学校運営>

若年層のスタッフへの評価を全体的に重要視する施策をとる事で  
それらの職員の働きが以前よりも向上しているのを実感している。  
就業年数が長いスタッフについても若いスタッフを意識した対応に  
なるとより良い。

#### <項目3 教育内容>

産学協同や地域連携など積極的な部署とそうでない部署があるので、  
全体的により積極的になるように対策して行く事が重要。  
最新の事例や環境について職員が学ぶ機会を作る事を検討するべき。  
AIの発展について卒業生なども含めて学ぶ場を作ると良い。

#### <項目4 学習効果>

卒業生に関して情報が共有できるプラットフォームが必要になっている。  
コミュニケーションを主眼の目的としたものでなく、学校からの連絡  
として使用する形も検討するべき。

#### <項目5 学生支援>

社会人に対しては、募集時の広報に関する部分の負担などもあるので、  
限られたリソースの中で集中して事業として取り組むべきかよく検討  
するべき。  
カウンセリングが必要な学生に対しての対策などは負荷の分散など  
検討するべき。

#### <項目6 教育環境>

防災に関してはコロナ以前の状態に戻し、再度計画的に行って行くべき。  
建物・設備の修繕に関して行っていく事に関して周知して行く事も重要。

<項目7 学生募集について>

今まで通りではなく、様々な状況が変わって来ている事を踏まえて取り組みの仕方を検討すべき。

<項目8 財務>

昨年までと同様の状況。

<項目9 法令の遵守>

学生管理システム刷新へのロードマップの策定が必要。

<項目10 社会・地域貢献>

コロナ前への体制へ徐々に戻していく必要性。

<項目11 国際交流>

18歳人口が減少して行く中で、国際交流のあり方、対処の仕方を検討しなおすべき。